

(3) 優秀勤労障がい者

○若松 枝里（わかまつ えり） 30歳

勤務先：社会医療法人耕和会 グループホーム 太陽の丘(宮崎市)

勤続：3年6ヶ月

障がい名：身体障がい（脳性麻痺による両上・下肢機能障がい）



グループホーム 太陽の丘は、宮崎市清武町に平成14年に開設された。若松氏は、2021年、みやざき障がい者就業・生活支援センターより紹介を受け、その後、トライアル雇用を経て常用雇用となる。本人にとって、グループホーム太陽の丘が初就労である。職場までの通勤手段は路線バスを利用して、最寄りのバス停から職場まで約800mの道のりを20分ほど掛けながら徒歩通勤している。（雨天時は約30分）

現在携わっている業務・作業内容は、介護事務職及び介護職補助業務を担っている。具体的には、介護記録補助（介護実務の職員がインカムを使用し、介護サービスの状況を実況で報告、インカムから入る情報を介護記録ソフトへの入力作業）、介護請求入力業務（介護請求ソフトに日単位で前日の介護サービスに関する利用料金等の請求情報を入力）、入居者家族へのお便り帳の添削修正等、利用請求書や入居者家族へのお便り帳の封入作業、物品発注・納品業務、認知症高齢者の生活支援業務（日常の作業中の会話を通して、入居者自身の生活に役割を見出し、自立した生活の一部をできるようにコミュニケーションをとる）など多岐にわたる介護に関わる業務を中心に従事している。

若松氏は、令和5年に「認知症介護基礎研修」を修了している。日常の業務においても「認知症高齢者が残された機能を活かし、暮らしを継続していくために、私はほんの少しのお手伝いをするだけです。」など、日々入居者に寄り添う姿に介護補助者としての意識を高く持っている。入職以来、障がいを持ちながらも就労に繋がるまで体験した様々な葛藤が、入居者への支援に「できない」と決めつけず、「何かできることがあるのではないか」と、常に可能性を探りながら入居者に寄り添う姿勢に、専門職の職員にとっても模範的な存在となっている。

物静かな性格で冷静に物事を考えかつ仕事が正確である。物品の発注漏れなどのチェック作業等ではミスなく、的確に業務をこなしており、周囲のスタッフからの信頼も厚い。また、介護サービス記録に従事していることから、入居者の状態を他の職員よりも詳しく把握できており、入居者の近況も明確に申し送ることができるなど、施設にとって、貴重な存在となっている。

素直で控えめでいつも笑顔を絶やさず、入居者や職員を励ましてくれるなど、施設に大切な存在となっている。